

資料 3

資 料 編

目 次

・ ワークショップの成果（令和7年7月）	・ ・ ・ ・ 1
・ 市民アンケート調査結果（令和6年12月～1月）	・ ・ ・ ・ 6
・ 事業者ヒアリング結果（令和7年1月～2月）	・ ・ ・ ・ 13
・ 第12次鳥取市総合計画（令和8年3月）	・ ・ ・ ・ 25
・ 鳥取市都市計画マスターplan（平成29年3月）	・ ・ ・ ・ 29
・ 鳥取駅周辺再生基本方針（令和6年6月）	・ ・ ・ ・ 29
・ 第2期鳥取城跡周辺にぎわい交流ビジョン（令和7年3月）	・ ・ ・ ・ 30

ワークショップの成果

1. 開催趣旨

鳥取市の景観計画を見直すため

①鳥取市の景観について関心を持っていただくきっかけづくり

②これから景観づくりで、大切だと思うことや取り組みをみなさまと一緒に考える

2. 日程

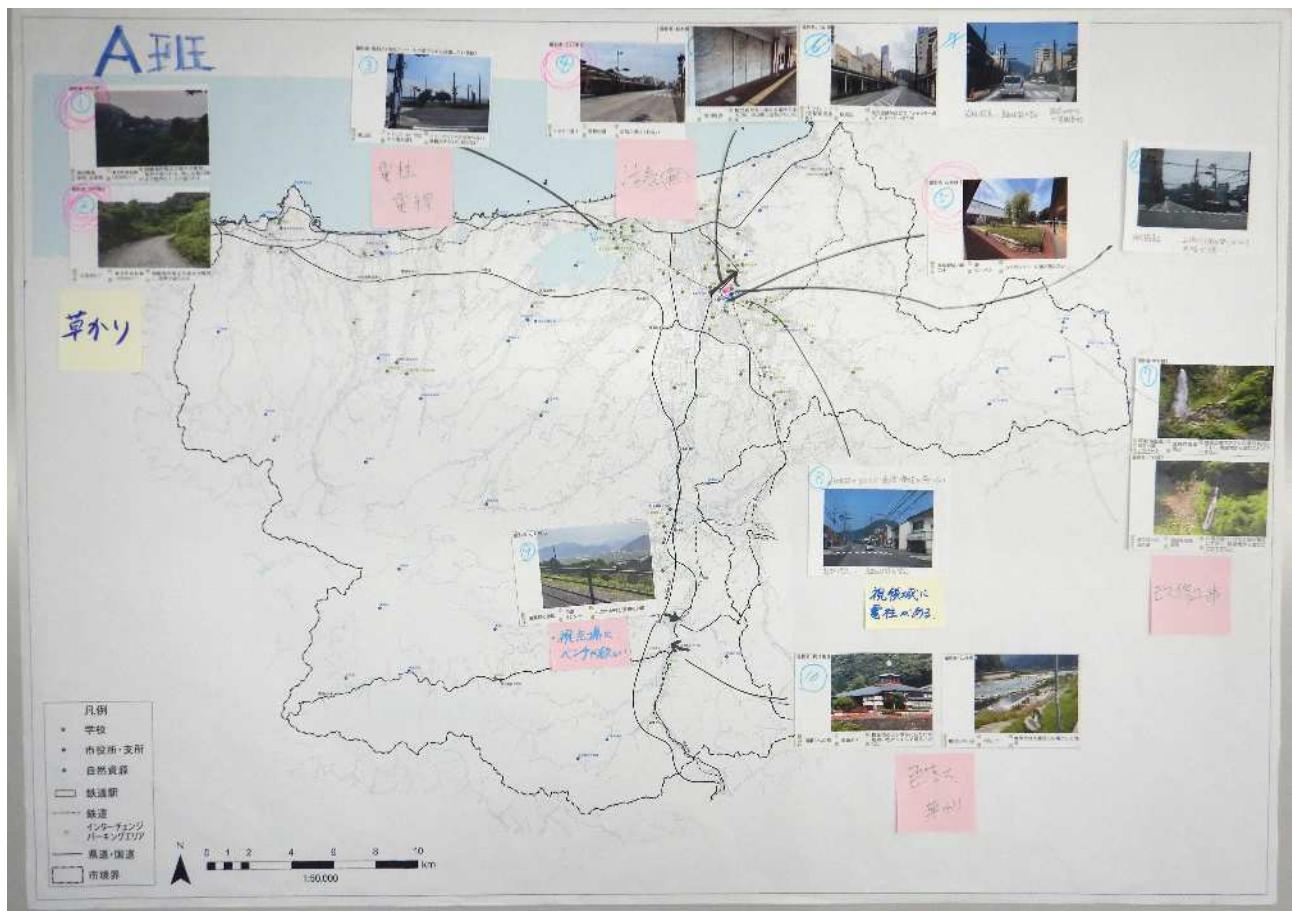
日時：7月12日（土）13:30～16:00

場所：市役所本庁舎会議室6-6・7・8

時間	プログラム	内容
～13:30	受付	
～13:50	イントロダクション	<ul style="list-style-type: none">・景観に関するレクチャー・ワークショップの進め方等
～14:20	<u>グループワーク1</u> (景観資源・課題の共有)	<ul style="list-style-type: none">・自己紹介・景観資源・改善したい景観の共有・ワークシート（地図）の作成
～14:35	<u>グループワーク2</u> (景観特性の把握)	<ul style="list-style-type: none">・景観要素の分類、整理・ワークシート（表）の作成
～14:45	休憩	
～15:10	<u>グループワーク3 - (前半)</u> (景観改善のための取組み)	<ul style="list-style-type: none">・改善するためのアイデア・ワークシート（表）の作成
～15:30	<u>グループワーク3 - (後半)</u> (取組み主体の整理)	<ul style="list-style-type: none">・主体ごとに取組を整理・ワークシート（表）の作成・まとめ
～15:55	成果発表	<ul style="list-style-type: none">・グループごとに作成したワークシート（地図・マップ）の発表
～16:00	ワークショップの総括	<ul style="list-style-type: none">・成果に対する総評・景観計画改定への活用方法等
16:00		終了



改善したい景観（A班）



景観を良くするアイデア（A班）

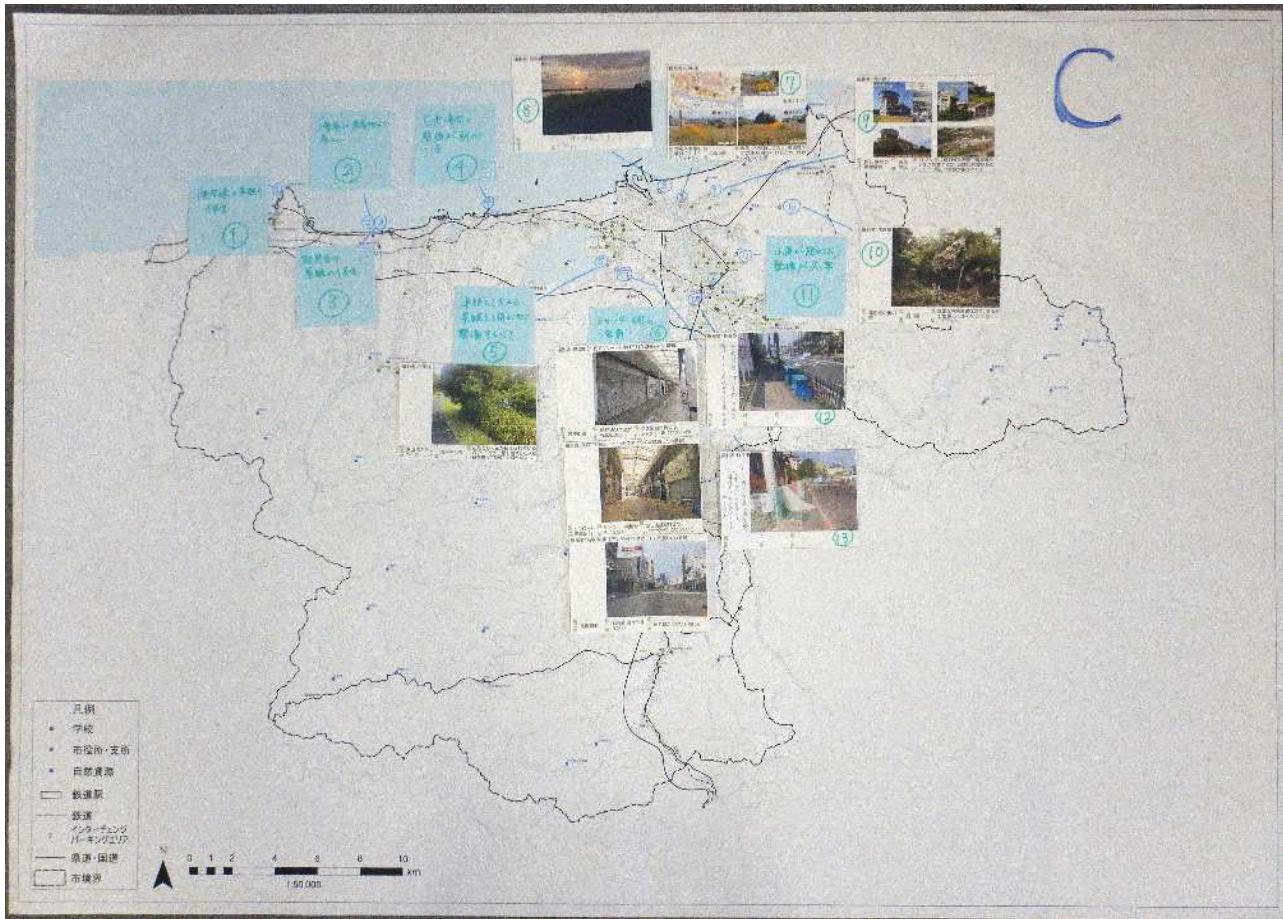
みんなで考える鳥取市の景観～未来へつなぐ わたしたちの景観～				鳥取市の改善したい景観を良くするアイデア				誰が何をする？				A班		
改善したい景観写真は？				景観資源を分類しよう				「」は現状の景観上に見えたかったもの 改善するためのアイデア						
No.	被る体	位置	理由	自然 景観	歴史的 景観	市街地 景観	その他	アイディア・取り組み内容	目的	市民	事業者	行政	その他	ベスト3
①	林林立木、 草刈り	山陰海岸 国立公園 内	山陰海岸国立公園内の森木が 荒廃し、倒木が散らばる 様子が見られる	○				▶ 森林を守る よい活動をつくること	きれいな景観を守ること	現状の商店 経営者、アーティスト	山陰海岸 国立公園 管理者	ペント		
②	大宝寺跡	山上	山陰海岸国立公園内の森木が 荒廃し、倒木が散らばる 様子	○				▶ 上	山上	団体	団体	山上		
③	若山池	若山池 周辺	若山池周辺の水を濁す 原因を調査し、 水質を改善する		○			▶ -	-	-	-	-		
④	ジャングル	若山池	若山池周辺の水を濁す		○			▶ ハート形へ看板用 シルエットにポイント	風光資源の活用	空き地舗装や活用する 団体の運営者	企画者会員			ジャングル、廃リ サイクル施設の利用
⑤	鳥取駅前の 桜の大木	駅 前	シンボルツリーに見え る木			○		▶ シラカシファンディングを する	シンボルの作成	シラカシファンディングへの 出資	JR西日本・地方松林	シラカシファンディングの 仲間		鳥取駅前のシンボル としてシラカシ ファンディングの導入
⑥	牛牛牧場	-	山陰海岸国立公園があり、 牛舎がある			○		▶ -	-	-	-	-		
⑦	若狭海岸 公園	若狭海岸 公園	若狭海岸公園でアコモス道が 整備してあり、土砂崩れが 見えてどうぞそぞ	○				▶ 地域に働きかける よき活動をつくります	きれいな景観をつくります	現状の施設	施設作成、点検工事			
⑧	海づらの 水槽	海づら 公園	海づら公園が見えるが電 線柱を高くしたり、 樹木に隠しきら		○			▶ 上	山上	団体	団体	山上		
⑨	河ト	河ト	河ト			○		▶ 岩植め	お庭が見やすいお庭を作ること	放送	放送	1番		
⑩	日本丸の景 観	日本丸	日本丸の景観の半 島、現状はベンチが設 けられ			○		▶ 木を移植して近くする	より魅力的な景観となる	-	-	-		
⑪	河川の景 観	河川	河川			○		▶ 沿岸にベンチが欲しい	落ち着いて景観を楽しめる	-	-	-		
⑫	河川の景 観	河川	河川			○		▶ SNSで育てるところ	きれいな景観を育むこと	-	-	-		
⑬	河川の景 観	河川	河川			○		▶ 岩植め	風光資源の活用	-	-	-		

改善したい景観（B班）



景観を良くするアイデア（B班）

改善したい景観（C班）



景観を良くするアイデア（C班）

改善したい景観（D班）



景観を良くするアイデア（D班）

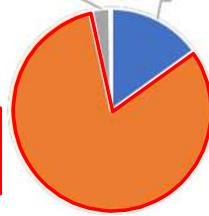
みんなで考える鳥取市の景観～未来へつなぐ わたしたちの公認～												
鳥取市の改善したい景観を良くするアイディア												
景観論議を公演しよう												
改善したい景観事例は？												
No.	被写体	位置	理由	自然 風景 歴史的 景観 市街地 景観 その他	改善するためのアイディア・取り組み内容	目的	誰が何をする？	市民	小委員会	行政	その他	ベスト4
①	夕暮れ山町、瀬戸地区	山城の夕暮れ山町にあります。夕暮れ山町は、その年の豊作を祝うために、毎年秋に開催される「瀬戸山秋祭り」で、多くの人が来ます。	○	○	ロープブリッジがあったが、撤去されたのが大変な失敗でした。また、橋の手前には、木造の橋があるが、木造の橋は、木の構造が古く、危険です。	町内を見えるようになります。また、夕暮れ山町にあります。町内に咲いている花の花壇を、木造の橋の手前にも咲かせましょう。	市民が占める	-	市民が占める	市民が占める	-	久松山の山頂にPRしてもらう
②	山上 向上	山上	○	○	道幅が狭いので、車の往来が多いときに危険です。	道幅を広げて、車の往来を減らすために、道幅を広げます。	市民が占める	山上	山上	山上	-	山頂の開拓地を広げてもらう
③	日本丸と北山城跡	日本丸と北山城跡	○	○	日本丸と北山城跡は、とても古い歴史がありますが、現在は、ほとんど見えていません。	日本丸と北山城跡を保護するために、木造の橋を設置します。	市民が占める	日本丸と北山城跡	市民が占める	市民が占める	-	日本丸と北山城跡を保護する
④	出で水橋、瀬戸本通り	出で水橋、瀬戸本通り	○	○	出で水橋は、瀬戸本通りの重要な橋梁ですが、現在は、ほとんど見えていません。	出で水橋を保護するために、木造の橋を設置します。	市民が占める	出で水橋	市民が占める	市民が占める	-	出で水橋の保護
⑤	瓦屋町通り	瓦屋町通り	○	○	瓦屋町通りは、とても古い歴史がありますが、現在は、ほとんど見えていません。	瓦屋町通りを保護するために、木造の橋を設置します。	市民が占める	瓦屋町通り	市民が占める	市民が占める	-	瓦屋町通りの保護
⑥	若狭駅、若狭駅周辺	若狭駅、若狭駅周辺	○	○	若狭駅は、とても古い駅ですが、現在は、ほとんど見えていません。	若狭駅を保護するために、木造の橋を設置します。	市民が占める	若狭駅	市民が占める	市民が占める	-	若狭駅の保護
⑦	鳥取市立病院、鳥取市立病院周辺	鳥取市立病院、鳥取市立病院周辺	○	○	鳥取市立病院は、とても古い病院ですが、現在は、ほとんど見えていません。	鳥取市立病院を保護するために、木造の橋を設置します。	市民が占める	鳥取市立病院	市民が占める	市民が占める	-	鳥取市立病院の保護
⑧	日本海沿い	日本海沿い	○	○	日本海沿いは、とても古い海岸ですが、現在は、ほとんど見えていません。	日本海沿いを保護するために、木造の橋を設置します。	市民が占める	日本海沿い	市民が占める	市民が占める	-	日本海沿いの保護
⑨	鳥取駅前	鳥取駅前	○	○	鳥取駅前は、とても古い駅前ですが、現在は、ほとんど見えていません。	鳥取駅前を保護するために、木造の橋を設置します。	市民が占める	鳥取駅前	市民が占める	市民が占める	-	鳥取駅前の保護
⑩	若狭山	若狭山	○	○	若狭山は、とても古い山ですが、現在は、ほとんど見えていません。	若狭山を保護するために、木造の橋を設置します。	市民が占める	若狭山	市民が占める	市民が占める	-	若狭山の保護
⑪	久松山	久松山	○	○	久松山は、とても古い山ですが、現在は、ほとんど見えていません。	久松山を保護するために、木造の橋を設置します。	市民が占める	久松山	市民が占める	市民が占める	-	久松山の保護
⑫	若狭海岸	若狭海岸	○	○	若狭海岸は、とても古い海岸ですが、現在は、ほとんど見えていません。	若狭海岸を保護するために、木造の橋を設置します。	市民が占める	若狭海岸	市民が占める	市民が占める	-	若狭海岸の保護

「鳥取市景観計画」改定に向けた市民アンケート調査結果

目的：景観計画改定に向け、
市民の意向を把握すること
期間：2024年12月23(月)～1月10日(金)
対象：満18歳以上の市民2,000人(無作為抽出)
回収数：471通 回収率：23.6%
(うち調査票315票、ネット回答156通)

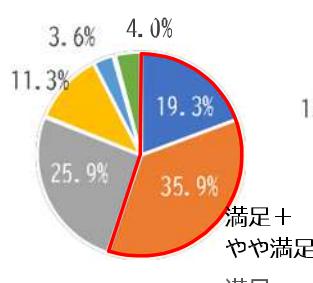
【問1】「鳥取市景観計画」を知っているか
無回答、3.0%

知らない、
82.0%



【問2】「景観形成重点区域」に対する満足度とその理由

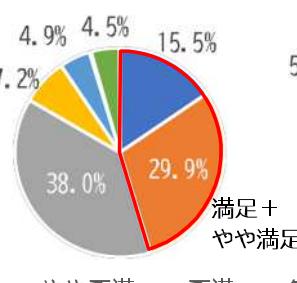
(1) 久松山山系



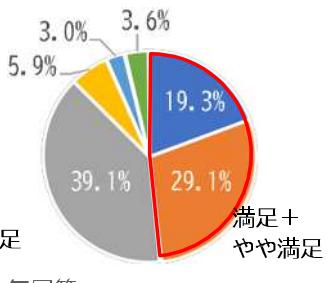
(2) 湖山池



(3) 因幡白兎



(4) 鹿野城下町



【問3】次世代に残したいと思う景色や場所

鳥取砂丘	65.2%
鳥取城跡・久松公園	47.8%
湖山池	19.3%
久松山	18.0%
白兎海岸・白兎の丘	17.4%

※上位5位

そのほか
・鹿野城下の街並み
・鳥取駅周辺
・福部町のらつきょう畑
・白兎神社
・魚見台など

【問4】景観上改善した方がいいと感じている景色や場所とその課題

鳥取駅周辺	188
幹線道路	107
湖山池	85
鳥取城跡・久松公園	69
鳥取砂丘	56

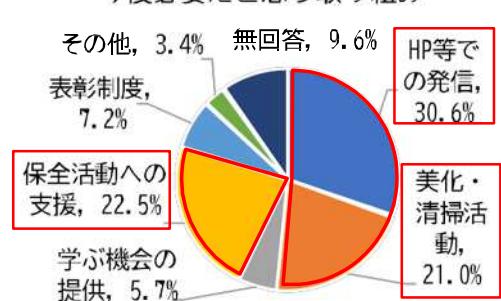
課題

- ①適切に管理されていない空き家や空き店舗があり、景色を乱していると感じる
- ②ビューポイントがわからぬ
- ③建物の色やデザインが、街並みに調和していないと感じる

【問5～7】おすすめしたい・守っていきたいもの

- ①眺望景観 鳥取砂丘 17.1%、久松山 11.1%、若桜・智頭街道 8.7%
- ②魅力的な建物 仁風閣 15.9%、五臓圓ビル 2.8%、宇倍神社 1.9%
- ③樹木 袋川沿いの桜並木 8.1%、鹿野城跡桜並木 1.7%、倉田八幡宮オオイ チョウ 1.5%

【問8】景観の保全や魅力向上のために 今後必要だと思う取り組み



【問9】自由意見

- ①統一された町並みの実現
- ②観光資源の活用と魅力向上
- ③交通・利便性の向上
- ④自然環境・景観の保全
- ⑤市民参加・世代間交流の促進
- ⑥空き家・シャッター街の対策
- ⑦商業施設・賑わいの創出

自然と調和した
伝統的な景観の
保全と観光・商業
の活性化の両立
が求められている

■ 問1 平成20年に鳥取市が策定した「鳥取市景観計画」を知っていますか？

「知らない」が82.0%ともっとも高いです。

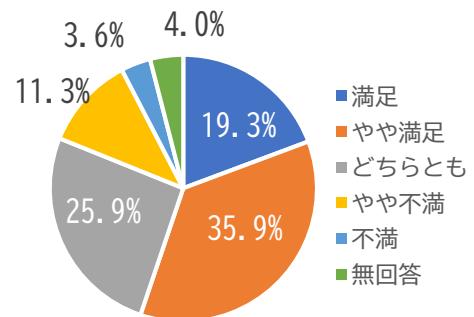


■ 問2 「鳥取市景観計画」では、次世代に残すべき景色や場所として、以下の4つの区域で重点的に景観形成に取り組んでいます。それぞれの景観の満足度を教えてください。当てはまる番号を1つずつ選んで、そう思う理由についてもご記入ください。

「満足」「やや満足」の合計がもっとも高いのは「久松山山系」55.2%、次いで「鹿野城下町」48.4%、「因幡白兎」45.4%である。「湖山池」29.3%と満足と回答した人が少なかったです。

□ 【久松山山系】満足・やや満足に関する理由（要約）

- 久松山とその周辺の景観は素晴らしいですが、駐車場が少なくアクセスが不便であると言う意見が多いです。
- 城の復元や歴史的地域としての魅力を感じますが、通年の魅力や観光スポットの充実が求められています。また、新しい橋や門が整備されていますが、PR不足と感じる意見もあります。鳥取市のシンボルとしての久松山と鳥取城跡は美しく、次の世代に伝えたい場所でもあります。観光資源としてのポテンシャルがあり、整備が進んでいますが、さらなる改修やアピールが期待されています。

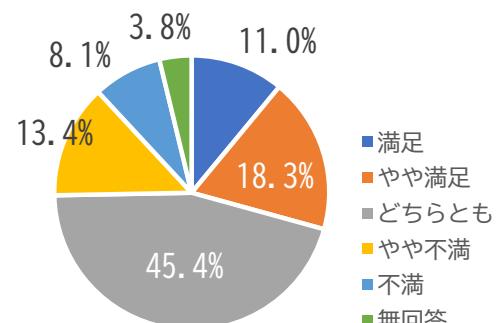


□ 【久松山山系】やや不満・不満に関する理由（要約）

- 訪れる人々が鳥取城跡や久松山を楽しむ際に駐車場が不足しており、特に高齢者や地元の人々にとって不便だという意見が多いです。また、観光名所としての連携が不足しており、観光客が集まりにくいという指摘もあります。更に、歴史的建造物の維持や整備が進められているものの、景観の保護や観光資源のPRが不足していると感じられていて、登山道や公園の整備も求められており、観光地としての更なる魅力向上が期待されています。

□ 【湖山池】満足・やや満足に関する理由（要約）

- 湖山池周辺は自然豊かで美しい景観が広がり、特に青島がリピーターに人気です。整備が進んでおり、草刈やボランティアの活動が評価されています。また、グランピング施設やナチュラルガーデンが活用されている一方、水質改善が求められています。桜の季節や散歩中の風景が良く、地元住民に癒しの場として親しまれていて、景観は素晴らしいとされていますが、今後さらに改善が期待されています。

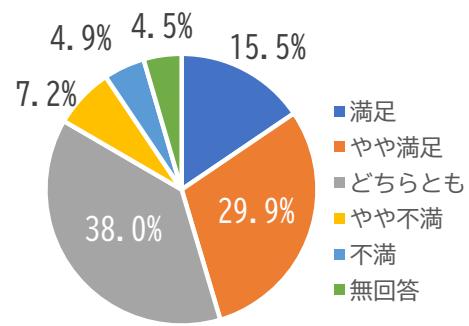


□ 【湖山池】やや不満・不満に関する理由（要約）

- 湖山池周辺は自然豊かでアクセスもしやすいが、池の水質が悪く、匂いや景観が損なわれています。整備も遅れています。観光スポットとしての魅力が不足していると感じられています。特に青島以外には見所が少なく、周辺に飲食店やベンチが不足していると指摘されており、観光地としての活性化や再構築が必要で、水質改善や整備の速度向上が求められています。

□ 【因幡白兎】満足・やや満足に関する理由（要約）

- 白兎神社と海岸は全国的に有名で、きれいに整備されており、観光地として魅力的です。道の駅や神社があり、海や自然を楽しむことができます。白兎伝説に基づいた景観が評価されていますが、砂浜の縮小やアクセスの不便さが課題です。観光客が多く訪れ、地域の魅力を高めるための整備が進められている一方で、更なる改善が求められています。景観の美しさや歴史的な背景が観光客に喜ばれています。

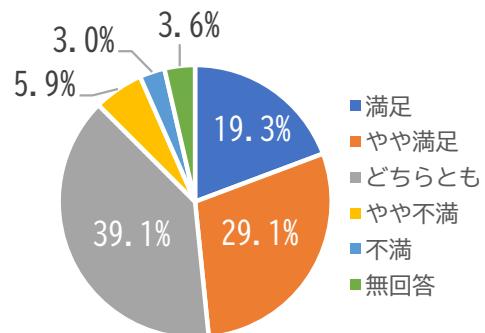


□ 【因幡白兎】やや不満・不満に関する理由（要約）

- 白兎神社や海岸は歴史的な場所で、きれいな眺めが楽しめますが、交通の便が悪く、わざわざ訪れるることは少ないです。道の駅や観光施設の充実が不十分で、砂浜の縮小やアクセスの難しさが課題です。訪れる人も減少しており、地域の魅力を高めるためには、役所と民間の協力が必要です。景観の美しさは評価されていますが、整備の速度や広報活動に改善の余地があります。周辺施設の充実と観光資源の活用が求められています。

□ 【鹿野城下町】満足・やや満足に関する理由（要約）

- 古い街並みや城下町の風情が残り、市民協力で景観が整備されていることから、多くの観光客が楽しんでいます。春の桜や初夏のハスが美しく、散策に適した静かな場所で、地域の人々の努力が感じられ、情緒や趣があるなど、訪れる価値のある場所として評価されています。
- 駐車場の少なさや交通の便に関する課題はありますが、全体的には非常に美しい景観が保たれており、観光客や住民にとって安らぎの場所となっています。

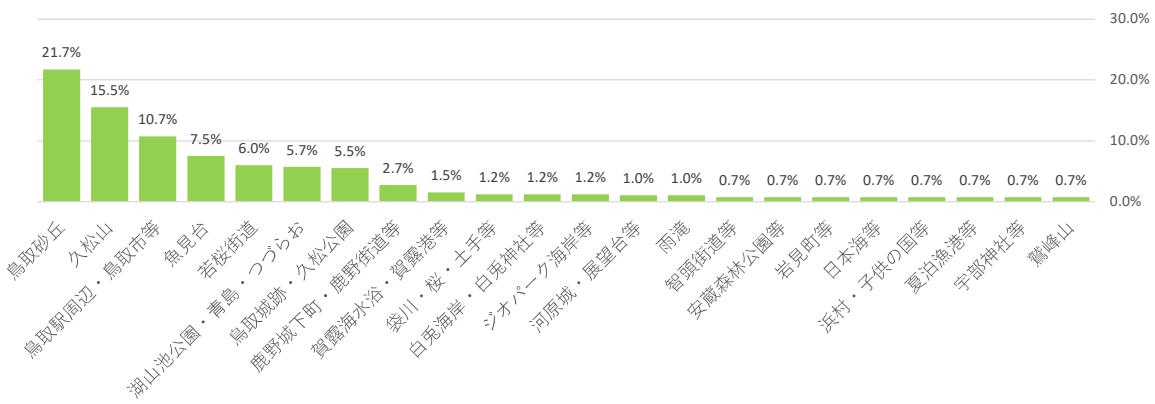


□ 【鹿野城下町】やや不満・不満に関する理由（要約）

- 景観は良くなつたが、案内板が少なくて目的地が分かりにくく、交通の便も悪いと感じている人が多いです。また、店が寂れている感じがし、駐車場が少ないことや道が狭いことも課題として挙げられています。城の堀の水が汚いと感じる人がおり、もっとお金をかけて整備する必要があるという意見もあります。インバウンドの取組や観光客が集まる工夫が求められており、役所と民間の協力が必要とされています。整備が遅れており、空き地や空き家が多いことも問題視されていて、城下町の風情を活かして観光地の魅力を高めるべきとされています。

■ 問3 次世代に残したいと思う景色や場所を、Iから選んでください。（最大3つまで）その他を選んだ場合は回答欄に具体的な内容をお書きください。n=401

上位5位は①「鳥取砂丘」65.2%、②「鳥取城跡・久松講演」47.8%、③「湖山池」19.3%、④「久松山」18.0%、⑤「白兎海岸・白兎の丘」17.4%でした。



- 問4 一方で、景観上改善した方がいいと感じている景色や場所があれば、(1)から選んでください。(最大3つまで)また、その課題に近いと思うものを(2)から選んでください。その他を選んだ場合は回答欄に具体的な内容をお書きください。(事例は複数回答可) n=471

景観上改善した方がいいと感じている上位5位として、①「鳥取駅周辺」188件、②「幹線道路」107件、③「湖山池」85件、④「鳥取城跡・久松公園」69件、⑤「鳥取砂丘」56件でした。

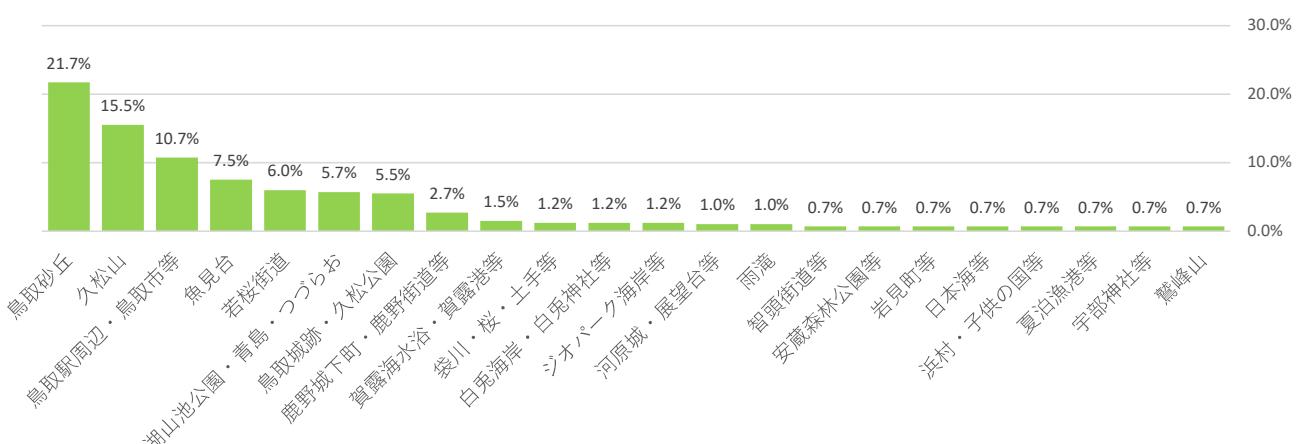
課題	A. 望高を遮る建物がある建物が、感じられる景色や眺	B. 建み物の色を見調和していざないんとが、感じられる景	C. 色を見、見る場所	D. 発電を乱・可し風能	E. 感板でジタル	F. を屋外広告する	G. い電柱や感電線が、	H. 地と地に適切に管埋設され	I. 適切に空き地や	J. 公共施設へ道	K. 花や緑が少ないと感じ	L. その他	回答数
景色や場所													
1. 鳥取駅周辺	11	20	32	0	6	10	2	5	49	8	20	125	188
2. 湖山池	1	2	31	0	0	0	0	17	3	5	13	13	85
3. 久松山	5	1	16	1	0	0	1	0	3	1	3	10	41
4. 鳥取城跡・久松公園	6	1	17	0	0	0	5	5	4	9	6	16	69
5. 白兎海岸・白兎の丘	1	3	7	2	0	0	1	4	1	8	1	2	30
6. 白兎神社	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	1	2	8
7. つのいニュータウン	0	1	16	0	0	0	0	6	4	2	3	5	37
8. 吉岡温泉	0	1	7	2	0	0	2	3	11	0	1	6	33
9. 幹線道路(智頭街道、若桜街道など)	0	5	8	1	2	1	6	5	63	3	5	8	107
10. 上地の棚田	0	0	2	0	0	0	0	4	1	0	0	3	10
11. 因幡の国庁跡	0	0	8	0	0	0	0	4	0	0	2	7	21
12. 鳥取砂丘	1	4	10	0	0	0	1	5	8	6	3	18	56
13. 福部町のらっきょう畑	0	0	12	0	0	0	0	5	0	2	0	5	24
14. 河原城	0	3	8	0	1	0	1	0	1	1	2	7	24
15. 用賀宿の街なみ	0	3	2	0	0	0	2	0	4	1	1	0	13
16. プラザ佐治	0	0	3	0	0	0	1	1	0	1	0	6	12
17. 佐治川	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	9
18. 魚見台	0	0	8	0	0	0	0	3	0	2	1	5	19
19. 鹿野城下の街なみ	0	0	2	0	0	1	4	3	7	0	1	1	19
20. 夏泊漁港	0	0	6	0	0	0	1	1	0	0	0	1	9
21. その他	0	1	0	1	0	0	1	1	2	3	0	18	27
回答数	25	45	205	7	9	12	28	72	162	53	63	160	841

- 問5 鳥取市の景観で、ビューポイント(魅力的な景色を見る場所)として、おすすめしたい・守っていきたい景色や場所があれば教えてください。(最大3つまで)

「見る場所：視点場」「見える景色：視対象」とともに「鳥取砂丘」が上位です。

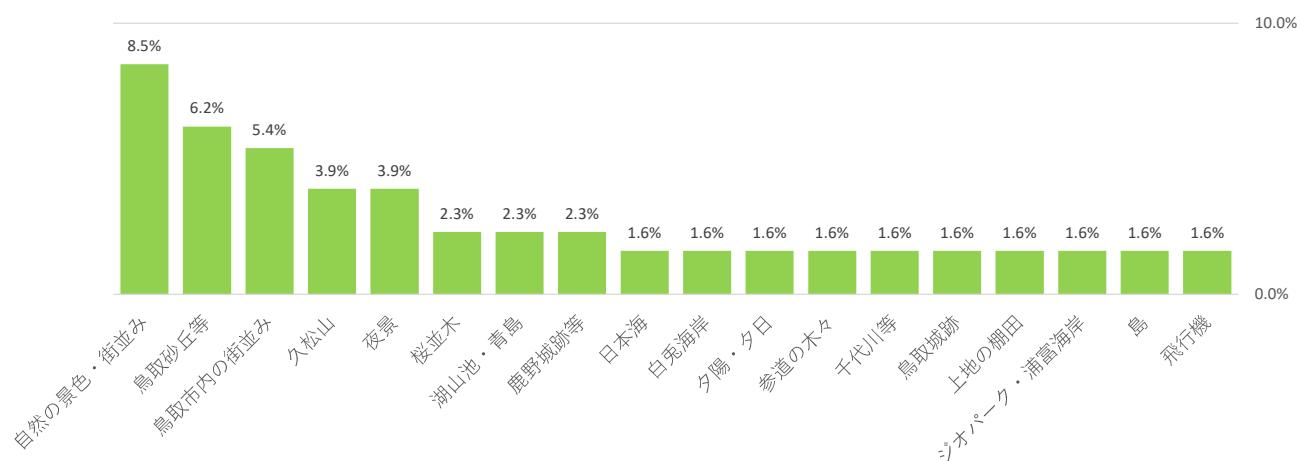
(1)見る場所：視点場 n=401

「見る場所：視点場」については、「鳥取砂丘」21.7%、「久松山」15.5%、「鳥取駅周辺・鳥取市等」10.7%「魚見大」7.5%、「若桜街道」6.0%が上位5位でした。



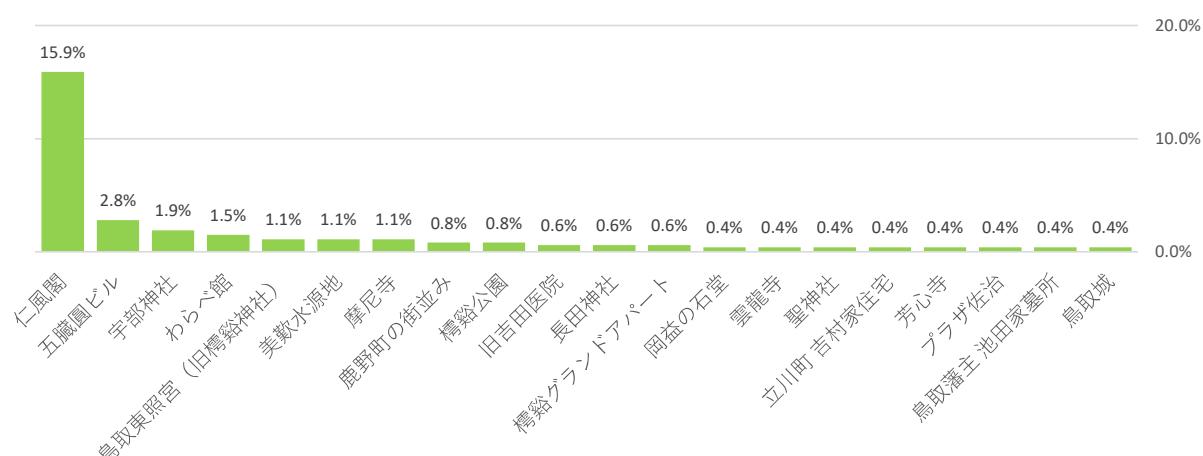
(2) 見える景色：視対象 n = 129

「見える景色：視対象」は、「自然の景色・街並み」8.5%、「鳥取砂丘等」6.2%、「鳥取市内の街並み」5.4%、「久松山」「夜景」がともに3.9%でした。



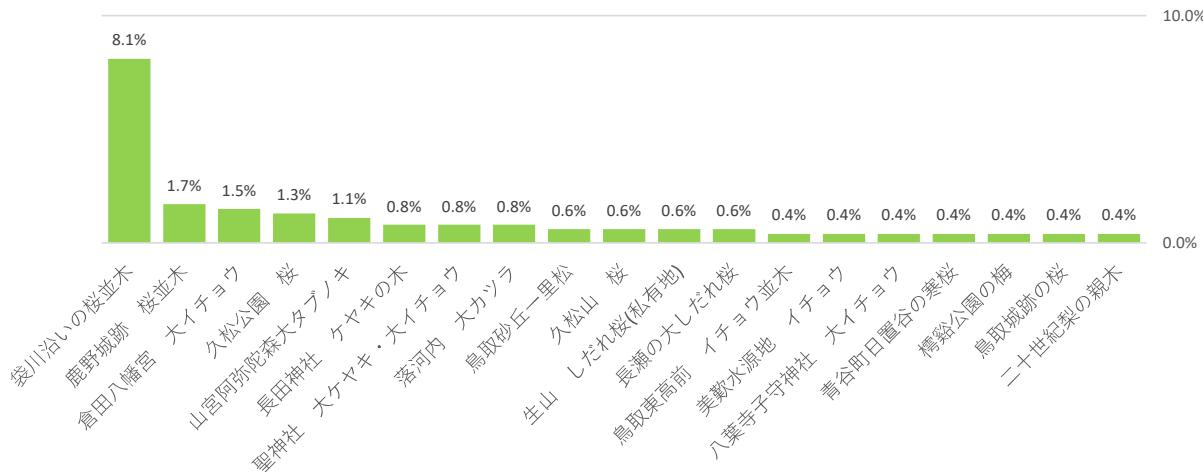
■ 問6 鳥取市の景観で、おすすめしたい・守っていきたい魅力的な建物があれば、教えてください。n = 471

「仁風閣」が15.9%と他に比べて高くになっており。次いで「五臓圓ビル」2.8%です。



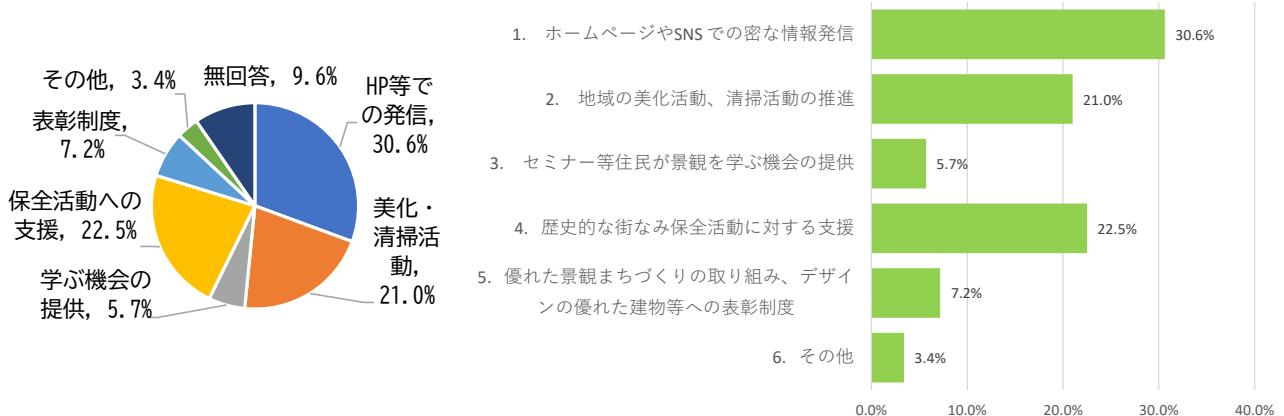
問7 鳥取市の景観で、おすすめしたい・守っていきたい樹木があれば、教えてください。n = 471

「袋川沿いの桜並木」がもっとも多い8.1%です。



■ 問8 鳥取市の景観について、その保全や魅力向上のための取組で、今後特に必要だと思うことを教えてください。（当てはまるもの1つに○）n=471

「1. ホームページやSNSでの密な情報発信」がもっとも高く30.6%で、次いで「4. 歴史的な街なみ保全活動に対する支援」22.5%、「2. 地域の美化活動、清掃活動の推進」21.0%です。



「6. その他」については、以下の通り意見がありました。

- ・市街地、廃墟の建屋取壊し
- ・ゴミの不法投棄の解消
- ・デジタルサイネージの乱立への規制、車を運転していると眩しい
- ・耕作放棄地が無くなれば景観は大きく変わると思う
- ・(例)桜土手の景観・開花時期にフォトコンテストを行い、前年作品の展示と併せて作製した入賞作品のカレンダーを一口100円の募金で進呈し、桜の保護・管理に当てる取組工夫を！
- ・市民が共有できる将来的な街のイメージ

■ 問9 「鳥取市景観計画」や鳥取市の景観について、自由にご意見をご記入ください。n=196

全体的に、「自然と調和した伝統的な景観の保全」と「観光・商業の活性化」を両立させるまちづくりが求められています。

1. 統一された町並みの実現

- ・伝統的な日本家屋を基調とした景観づくりを推進し、町全体の統一感を高めるべき。

2. 観光資源の活用と魅力向上

- ・久松山・鳥取城跡周辺の整備、城の復元、登山道の充実。
- ・砂丘の自然美を活かしつつ、他地域との差別化を図る。
- ・千代川河口～賀露港間の観光的な橋の設置。
- ・米子・島根に比べて活気がないと意見もあり、若者向けの施策が求められる。
- ・SNSや情報発信の強化が必要。

3. 交通・利便性の向上

- ・100円バスの範囲拡大、駐車場の整備（特に市中心部・久松山周辺）。
- ・交通アクセスの悪さが観光のネックになっている。

4. 自然環境・景観の保全

- ・砂丘や森林の維持管理（手を加えすぎない自然美の保全）。
- ・耕作放棄地の増加、高齢化による景観悪化への懸念。
- ・道路・歩道の除草整備、ゴミの管理強化。

5. 市民参加・世代間交流の促進

- ・若い世代の意見を取り入れたまちづくり。
- ・住民が誇れる景観を維持しながら、観光資源としての活用も考慮。

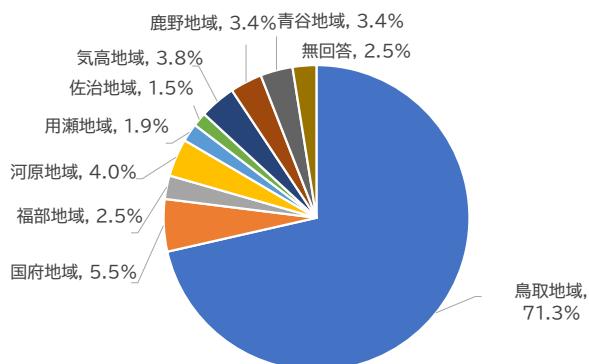
6. 空き家・シャッター街の対策

- ・景観維持のために、空き家問題や老朽化した建物の整理が必要。

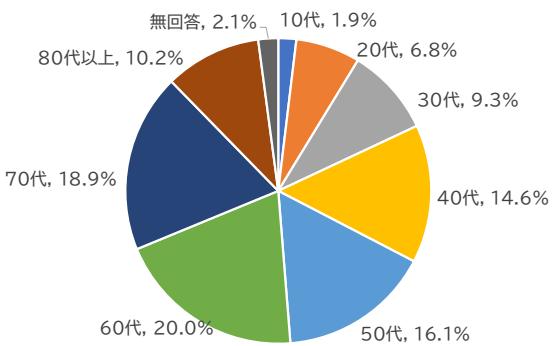
7. 商業施設・賑わいの創出

- ・鳥取駅南地域の商業誘致、中心市街地の活性化。
- ・商店街の魅力向上、観光客・住民が訪れたくなる場所づくり。

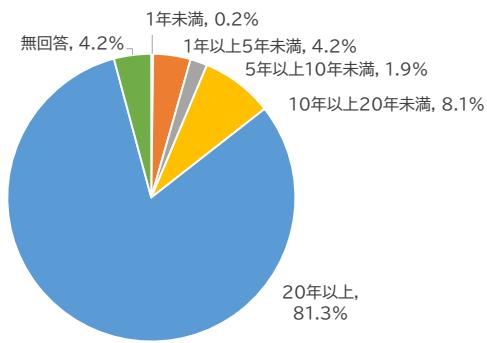
■ 回答者属性について
問10-1 お住まいの地域



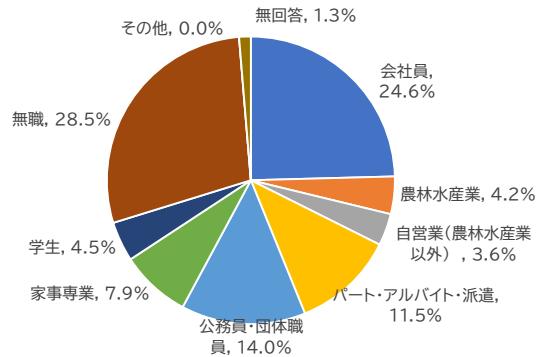
問10-2 年代



問10-3 市内居住年数



問10-4 職業



事業者ヒアリング結果

実施時期：2025年1月16日(木)～2月10日(月)

目的：現行計画の改定に向け、事業者の意向を把握する

設問：①景観計画の認識と取組状況、②今後の施策、③景観に関する届出制度、④協働による取組、⑤

景観形成基準について全15問

方法：ヒアリングシート送付、回答後ヒアリングの実施

対象：13団体

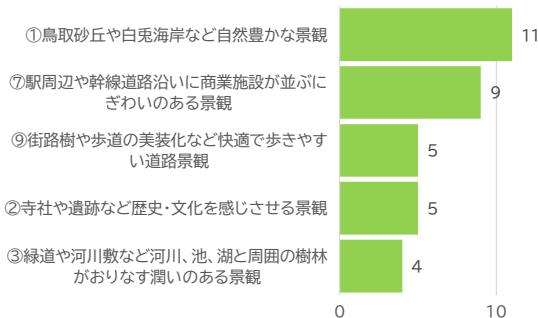
分野	事業者名
1 建築	鳥取県建築士会
2 不動産	鳥取県宅地建物取引業協会
3 造園	鳥取県造園建設業協会
4 屋外広告物	鳥取県広告美術業協同組合
5 農業	鳥取いなば農業協同組合
6 漁業	鳥取県漁業協同組合
7 林業	鳥取県東部森林組合
8 商業	鳥取商工会議所
9 商業	鳥取県商店街振興組合連合会
10 旅館・ホテル業	鳥取温泉旅館ホテル組合
11 電気通信業	中国電力ネットワーク株式会社鳥取ネットワークセンター
12 電気通信業	日本電信電話株式会社鳥取支店
13 観光	鳥取市観光コンベンション協会

景観づくりの取り組みに対して

- 【問1】認知度「名前を耳にした」「目を通した」が各37%一番多い
【問2】景観（街並みや自然等）を意識する機会「関係あり」74%、「少し関係あり」26%
【問3】良好な景観形成に向けた取り組み「周辺環境との調和」「植栽」「清掃活動」「景観法を守る」
【問4】それに必要だと思う支援「補助金」「ルールや指導」「表彰制度等」

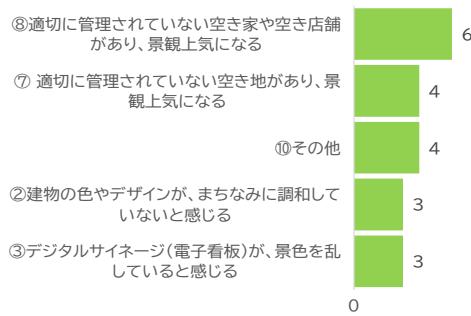
課題の整理

【問5】重要だと考える景観 ※上位5位示



景観形成重点地区等

【問6】課題と認識している景観※上位5位



眺望景観の形成・行為の制限に関する事項・景観重要建造物及び樹木等

【問7】取り組みの重要度

<input type="checkbox"/> ビューポイント	「重要」83% 「重要ではない」17% 「どちらとも言えない」0%
<input type="checkbox"/> 再生可能エネルギー施設	「重要」50% 「重要ではない」17% 「どちらとも言えない」33%
<input type="checkbox"/> 景観上重要な建築物、樹木	「重要」78% 「重要ではない」2% 「どちらとも言えない」17%
<input type="checkbox"/> 公共施設の景観形成指針	「重要」44% 「重要ではない」17% 「どちらとも言えない」39%
<input type="checkbox"/> ガイドライン	「重要」22% 「重要ではない」17% 「どちらとも言えない」61%

届出に関する意識等

【問8】届出を行ったこと 「ある」37% 「なし」63%

【問9】届出準備「必要書類の作成、確認」「色やデザイン等仕上がりについて協議」

【問10】届出の手間や負担「書類の作成、現地確認」「コスト調整」

【問12】必要な支援「補助金」「WEB等で簡素化」

景観事前協議、行為の制限に関する事項

【問11】景観に配慮した建築物の計画・設計において重視すること

「形態や色彩等」「周辺環境への配慮」「歴史・文化」

景観づくりの取り組みに対する支援制度

【問13】

地域、企業、行政の協働の取り組みとして進めていくうえで必要な支援



景観形成基準

【問14】届出を行う規模要件や行為制限「満足」11% 不満 6% 「どちらとも言えない」83%

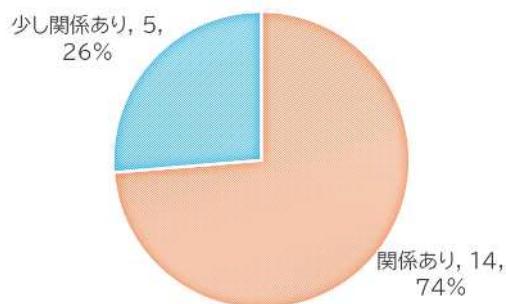
「目的に応じた規制を」「地域ごとに制限を検討」

【景観計画の認識と取組状況】

問1：「鳥取市景観計画」について、これまでその内容を読んだり聞いたりしたことありますか？



問2：業務内容は、景観（街並みや自然等）を意識する機会がありますか？



問2：具体的な内容

- 新築設計業務を行う際は計画地にて周囲の景観も含めて確認している。増築や改修設計の場合も既存の建物と合うよう意識している。土地のもつ固有の力を汲み取りつつ、周辺環境との調和を考えながらデザインをするように心がけている。外部は街の一部という考え方でデザインを行う必要があると考えている。
- 造成地の開発、建物の建築、居住しない空き家の増加、ゴミ屋敷、手入れのされていない植木、樹木、多頭飼で飼育崩壊した猫屋敷、所有者不明土地で管理されていない、統一感のない景観
- 売買契約時の重要事項説明にて説明する必要がある。また、建築物の制限に関わる為。
- 不動産売買の重要事項説明の際に鳥取市景観計画について説明している。
- 売買契約時の添付資料として添付するのみです。
- 景観関連の審議委員をしております。審議内容に応じて（その他の内容も含めて）再確認等をします。
- 造園の仕事に従事しているため、樹木や植物等に触れることが多いので必然的に景観、美観を意識しています。
- 鳥取市は海、山等の自然が豊かな土地であり業務内容は直接景観に影響するものであるた

め意識はします。

- 景観が綺麗であれば、水産物のイメージアップにも繋がると思われ、観光業にもプラスに作用すると思われる。より住みやすい環境となるので、人口減少の抑制にも繋がり、水産物の消費量にも影響すると思われる。
- 依頼に基づき、庭木等を伐採する。住宅の庭木や公園の木の伐採が主である。(届出が必要な行為について説明) 該当があるとしたら湖山池景観形成重点区域内での行為。今後該当すると思われる行為がある場合には相談する。
- 駅周辺再整備事業に協力しているため。
- 商店街の景観、看板、ごみ箱等（観光客が最初に目にするのが、駅前商店街のため）。
- 観光資源の観点から街並みや自然景観
- 送電設備（電線および支持物）の新設・建替工事等
- 当社通信設備の維持工事。山上の無線アンテナ用鉄塔や市街地の通信ケーブルなどの維持工事
- 電線類の地中化工事、電柱、電線類の新設および更新工事等
- 設備の整備はNTT フィールドテクノの担当となり、今回は照会しフィールドの意見も記載している。NTT 単独で設置する電柱は7m程度のため届出の対象となるものは該当がない。高いものは中国電力との共同での設置のもの。正確な数字ではないが体感7～8割は中電との共同による設置。
- 鳥取城跡周辺で桜のライトアップ事業を実施する際、久松山系景観形成重点区域に含まれているため、ぼんぼり、ポール等の設置においては、国土交通省による「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン」で推奨された景観色を参考に、景観的調和を図る製品を使用していることから、外に設置されている広告物についても意識することがある。以前は意識していなかったことであるが、数年前に鳥取市からの指摘があり、設置したものを見直すスプレーで塗ったことがあった。以降は景観色を参考にし、配慮している。

問3：良好な景観形成に向けて、現在取組をされていますか？

- 周辺環境と調和しながらもその周辺でうまく賑わいが生まれる起爆剤となるような建物を少しでも増やしたいと考えて活動している。特別な取組はしていないが、問2の回答のように業務を行う際に常に意識をしている。
- 緑化の創出は、ほとんどありませんが現存し

- ている樹木等の管理を通じて景観形成に寄与しています。
- ・看板業界では良好な景観形成は必要。クライアント、お客様の意向に沿いながら景観も考慮したデザイン、形状を提案していく。お客様の意向に沿いながら進めていく。お客様の意向と景観への配慮とで折り合いがつかないこともある。
- ・派手・奇抜な色・デザインにならない施設をこころがけています。農村については、水田の維持を基本にしています。
- ・定期的に組合員による海浜清掃、漁港清掃を実施している。国の事業で海浜清掃の補助を行っている。県の公安事務所等との協働で清掃活動を実施している。
- ・組合員に周知している

問4:取組を進めるうえで、どのような支援が必要であると思いますか？

<表彰制度等>

- ・ 良好的な景観を形成するために積極的に取り組んでおられる対象緑地、地域、企業、個人、行政施設等で部門別に表彰してみてはと思います。景観を良好にする機運が高まると思います。(新聞等マスコミも巻き込む)。緑化協会のガーデンコンテストの審査員をしている。結果は後日市報に載せ、表彰式も行っている。気運の醸成や広報に役立つのではないか。特に企業は、工場立地法が改定され定められている緑化率が20%から15%になり、維持費もかかるためその分減らしていく方向性が多い。経費がかかる中で維持している緑化をきちんと管理してもらうには、表彰などして機運を高めることも必要ではないか。また、たくさんの人人が集まる企業にスポットをあてることで、多くの社員にも広がりみんなが興味を示すなど、広がっていくのではないか。

<ルールや指導>

- ・ 景観条例や規制の整備・強化。景観を守るためにルールを明確にし、事業者や住民が守りやすい仕組みを作る。行政の窓口・コーディネーターの設置。住民や企業が相談できる専門窓口を設置し、計画策定や資金調達を支援。
- ・ 行政からの指導。組合員、非組合員が混在しているため、一律に景観指導が出来ない。組合員については回覧などにより周知しているが、非組合員については組合としてはどうすることもできず、そういうところは行政として指導してほしい。
- ・ インフラ事業者への定期的な理解活動の実施。

<補助金>

- ・ 近隣地域とマッチングする建物景観形成や砂丘や麒麟獅子等の観光資源をモチーフにした装飾表示等、宿泊施設の景観が地域裨益効果を高める取組。国(観光庁)の採択を受けて補助金で施工。鳥取温泉旅館ホテル組合として7件の施設が一緒に取り組んでいる。(モナーク、ニューオータニ、レッシュ、モーリスなど) 塀を綺麗にしたり、外壁やフロントの位置を替えリニューアル等している。
- ・ 「景観法」および「鳥取市景観形成条例」に基づき協議・届出を行い、届出内容を遵守して工事を施工している。
- ・ 景観計画区域内で工事が必要となった際は、漏れなく景観法に基づき、協議・申請を実施している。
- ・ 基準に則った建設
- ・ 既存施設の改修(例えば屋外広告物、工作物等の撤去や改修など)を行う場合の補助が考えられる。別の目的で改修等をするときに検討することが多いため、金額的な補助などがあるといい。根本的に使用する材料を限定するなどの施策を行わない限り景観を継続して維持していくのは難しいと思う。材料を限定することは難しいため、重点的に取り組む地域を限定するなど、重点的に実施するところとそうでないところをつくるのが良いと感じる。
- ・ 一定の基準を決めてそれを満たすものについては100%行政から補助金を出す(例 古民家が連続した街並みとか、昭和の街並みとか)。
- ・ 法律・条令の緩和策や資金的な補助があると良いと思います。
- ・ 産業廃棄物等、ごみの処分費の軽減。釣り客のマナーの徹底。産業廃棄物の処分費がかかるため、支援がないと難しいと考えている。
- ・ 上記(問3回答)のような改修の際の補助。観光庁のみでなく景観の観点からの補助があると良い。
- ・ 景観形成は重要だと考えるが対策費用との調和も重要と考える。真に重要な区域以外については、特にインフラ設備についての緩和を希望する(鉄塔の色彩等)。重点地域でない地域については緩和するなどできないか。山の中の鉄塔の色についても制限がかかる。色を基準に合わせ変更する場合、色の処理が高額である。

その他

- ・ 現在、必要な支援はない。事業を行うときや取組をするときにあれば有難いと思うが、今は具体的な事業もないため支援についても具

体的に必要だと思うものはない。

問5：これから鳥取市の景観を考える上で、あなたが重要だと考える景観はどれですか。(最大3つまで)



- その他：歩行者目線。観光客は車ではなく歩いて見るため歩行者目線で考えることが重要。駅周辺の再整備がされるが、駅がきれいではいけない。歩いてもらえる街づくりが必要である。姫路など好事例がある。シャッター街が問題に感じている。空き店舗となると寂れた印象となり、「仮店舗」とすると進行性が見える。空きビルをまち泊として活用するなど取組が必要だと考える。
- ③：袋川～鹿野街道のあたりの景観が良いと感じておりそこをイメージして記載した。川自体は綺麗ではないので改善するとより良いと思う。
- ③, ⑤：市街地以外の景観をイメージして回答。⑦：市街地をイメージして回答。耕作放棄地への対応については、集落や地域の皆様にお願いをしているといった状況。
- ⑥：鳥取県の水産物は、全国に誇れる価値があると考える為。海岸線一体の景観が重要である。海岸線については、海からくるゴミが景観を阻害している。つりの餌のあまりやしきけなど、景観を阻害しているのみでなくけがにも繋がる。海外の方への規制は特に難しく、観光を優先するのか環境を優先するのかは難しい問題である。
- ⑦：鳥取市の顔としての景観づくり：重点区域の中でも特にモデルケースとなるような区域をつくるのがいいのではないか。また、景観に対する意識を醸成するには目に見える変化があることが重要であり、公共施設がデザイン的に洗練され、先導していくようなものであることが望ましい。市が目に見える変化をやってみせ、どう広げていくかが重要ではないか。また、バリアフリーとデザインを合わせるような整備も重要である。駅周辺整備に関連して行うなど。

問6 現在、鳥取市の景観において課題と認識しているものありますか？



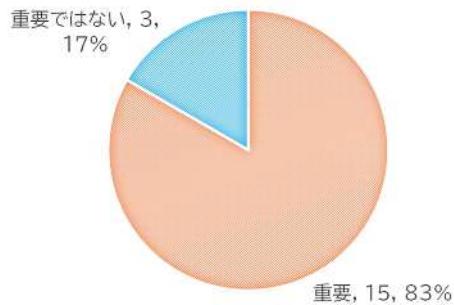
- その他：新しい住宅団地の景観の悪さ
- その他：適切に管理されてないわけではないが、空き家等が多く、賑わいが薄れている。鳥取駅周辺の街なかをイメージし回答した。
- その他：駅前建物の老朽化により、寂れた印象がある。駅前が寂れた印象であると、消費が低迷し水産物の消費にも影響してくると考える。
- その他：里山が荒廃している。里山について、竹林が住宅の周辺に多く、竹林を切って他の木を植える要望がある。竹林は手入れがなかなかされておらず、倒れていますなど荒れていますの印象を受けるため。
- ②：湖山街道に屋外広告物条例の基準ができる以前の看板があり、条例に沿っていないものがたくさんある。雑多な

印象がある。大きな塔屋の看板を基準面積内に直されているところもあるが、不自然に感じている。基準に適合していないものは次期点検時に改修などとしているが、行政とお客様の間に挟まれることがある。デジタルサイネージについては、立ててからいろいろな問題が出てきていると思う。

- ②：久松山周辺や智頭街道については整ってきていると感じている。その他について感じている。
- ③：デジタルサイネージについては、幸町の角のサイネージは夜眩しい。事故が起こってからでは遅い。
- ③：市役所近くのデジタルサイネージは夜が明るすぎる。車が走っているような映像があり、リアルと見間違えるなど危険であると感じた。規制が必要ではないか。
- ⑥：電柱の埋設を進めて欲しい。細い道路に電柱があると機能面でも良くない。
- ⑦：空き地はしかたないが、どう綺麗に見せるか。塀をして遮蔽するというのもあるが、そうすると圧迫感も出る。子育て世代に活用してもらえるよう、若い方に紹介し、リニューアルに助成金を出す、家賃の補助などがあると良いのではないか。(まるにわの取組)
- ⑧：鹿野街道について空き店舗が多いと感じている。久松山にいく過程で、景観が良くないと感じる。
- ⑨：鳥取駅から県庁に向かう通りについて感じている。駅のまわりには緑があるが、県庁方面にいくと街路樹等もない。駅から久松山までの導線にもっと緑があるといい。仙台や大阪の御堂筋など、並木等があると景観として良いと感じる。

問7:検討している取組の例について、それぞれどの程度重要だと思いますか？

問7-1 ビューポイント(魅力的な景観を見る場所)の選定と保全の取組



<重要な理由>

- 智頭街道から城跡が見えるよう少なくとも片原街道から城跡の間の区域に高い建物が建てづらくなるような規制を考えるべき（これまでにマンション建設に伴う住民の反対運動が起きている）。片原通りより鳥取城跡側に高い建物が建つ時、住民運動が起きるなど後追いで必ずトラブルになっている。決して規制を歓迎している訳ではないが、トラブルが起きている状況を考えると少なくともあのエリアは歯止めが効くような縛りを設ける必要があるのではないか。自発的配慮は難しい。
- 観光をセールスポイントとするならば、集客のために重要
- 多数の人々に注目され、評価されるので場所と安全性が重要。集まる人は高齢者から小さい子供まで様々であり、段差等危険なところは良くないと感じる。バリアフリーの観点からも考える必要がある。
- ビューポイントは観光客だけでなく、地域住民にとっても重要な資源、適切な活用を行うことで、地域経済の活性化につなげていける

と思います。

- 観光客のニーズが高いと考える。(候補となるポイントがあるか) 賀露の周辺は海岸の景観は良いが、漁港であり商業地であるため、どこまで一般の人を入れるかという問題があり、ビューポイントに設定することは難しいと考える。公園などが望ましいのではないかと思う。遠くから見るのが近くから見るのが重要であるが、空港周辺に飛行機を見るスポットになっているところがあり、また鳥ヶ島灯台（鳥取港灯台）なども良いが一般の人がいけないように現在はなっている。空港からの繋がりのところにビューポイントができると良い。魚見台も良いポイントであると思う。海浜については砂浜浸食の問題もある。
- 魅力的な景観を見る為には、そのビューポイントの選定、保全は必須。先ず良いビューポイントを選定し、かつ、保全し続けなければ人は集まらない。
- 観光客目線で考えること。どの角度から見のかということも重要である。やはり遠景が重要なのではないか。
- 集客、地域活性化に必要。松江では、届出時にどこの展望点からの景観の検討が必要であるかHPで公開している。行為地から〇m以内に展望点がある場合はそこから写真を撮影するなど。範囲内である場合は、展望点から見えない場合も「見えないことの確認」が必要である。展望点があれば基準が明確になる一方、数が多くなる場合は届出時の写真等の検討資料の作成が負担になる。現在も追加で撮影を求められるなど負担となっている。
- 集客、地域活性化に必要。
- 観光の側面からも重要であると考える
- 鳥取市が目指している、にぎわいのあるまちづくりとして、ウォーカブルなまちづくりに

は、ビューポイントの選定と保全が必要である。鳥取城跡があるが、鳥取駅を下りてすぐにそれが感じられないという意見を耳にする。駅と久松山との繋がりがない。夜景が綺麗な久松山から見下ろす眺望をもっと活用できたらいと感じている。現状は登るのが危険といった懸念はある。鳥取駅前の東横インの屋上からは、城跡や三階櫓や鳥取の街なみ、夏にはしやんしやん祭りなどが見渡せ良いポイントなのではないか。

<重要でない理由>

- 個人差があると考えます

問 7-2 大規模な再生可能エネルギー施設（太陽光発電・風力発電）の景観的配慮



<重要な理由>

- 規模によっては配慮が必要。規模と場所による。幹線道路を走っていて山にびっしり太陽光発電があるというのは景観上好ましくない。どこから見た時に見えるのか、街なみという面でも場所や規模によっては配慮が必要である。
- 景観として「良い」と思えないため
- 設置場所にもよるが、既存の樹木等植物を撤去して設置されるので、発電効率に支障のない程度の緑化を復旧し景観形成に務めるべきだと思います。山はだや荒地に設置されることが多いと感じている。規制を緩和すれば今後増えていくのでは。著しく景観を損ねないよう配慮が必要だと感じる。
- 景観との調和を考慮し、地域特性に応じた設計・配置・デザインを工夫することが不可欠です。
- 倉吉でもゴルフ場の跡地の市内から見える位置に太陽光発電施設が建設されている。倉吉の古い街なみに対し、観光に来られた方も違和感があるのではないかと感じてる。
- 観光客、住民目線で。自然エネルギーは重要ではあるが、風力発電が吉岡の山の上に何十機とできる計画があり、民藝協会で湖山池阿弥陀堂などを活用し遊覧船を出しているが、遊覧船から見えるということで景観上良くない。鳥取はやはり自然が売りであり、そぐわ

ないと感じている。

- ビルの壁面等に貼りつけて発電できる積水のペロブスカイトという太陽光発電が出てきている。新しいものが出てくる中で、先読みしたような規制が必要ではないか。
- 脱炭素社会の実現と地域住民への配慮の観点からも重要であると考える。米子でも太陽光発電の設置が増えており、景観が悪いと感じる。
- 景観を損なうおそれがあるので、景観計画区域外で設置したほうがよい

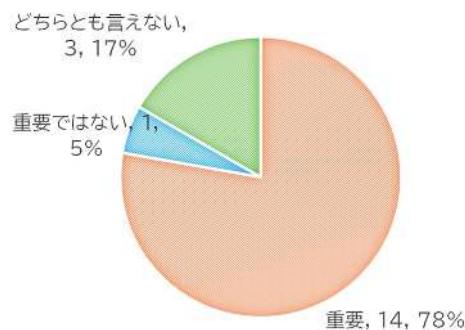
<重要でない理由>

- 海洋発電については、漁業への影響や地域の方への影響があると考え反対をしている。

<どちらとも言えない理由>

- 他所ではあえて工業的な施設との調和をポイントにしているところもある為
- 経済性も重要である。一方で景観への影響もあると考えている。暮らしのことを考えると再生可能エネルギー施設は重要であり、それぞれのバランスを考える必要がある。
- 設置する場所次第。
- 逆に景観資源となる場合もある。

問 7-3 景観上重要な建築物、樹木の選定と保全の取組



<重要な理由>

- 景観上重要な建築物、樹木は街の魅力づくりにつながるものなのでエリアによっては配慮が必要であるが積極的に活用すべき。(候補があるか) わらべ館、旧吉田医院、旧横田医院 三角公園(太平公園) や用瀬の方にも候補があるのではないか。
- 後世に残したいものは私たちの時代に大切にしないといけないと思う
- 周辺との調和やその地域における歴史、文化等を考慮し緑化の創出保全に取り組むべきと思います。造園協会では久松山周辺での散策ツアーや開催している。その際には文化財課から重要な樹木についてレクチャーを受け市民に説明をしている。候補としては、LIMNO(企

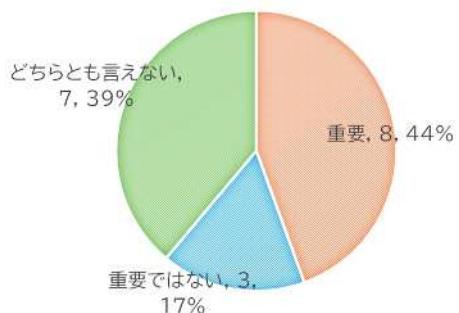
業）の敷地内に鳥取連隊の兵舎跡がある。歴史的建造物や樹木について、社員の意識も高い。

- ・ 景観保全は単なる「守る」取組だけでなく、地域資源として活かしながら次世代へ継承する仕組みを作ることが重要です。
- ・ 気高地域に重要樹木の候補となるものがあるのではないか。
- ・ 観光客のニーズが高いと考える。
- ・ 保全の取組は支援とセットであることが重要だと考える。現状具体例や候補はない。
- ・ 景観上重要なものは、常に保全が必須。保全されなければ景観が悪化する。
- ・ ただし、近辺住民の意見を参考にする。けやき並木通り（田島）も並木が整備されているが、住民は管理が大変であると思う。
- ・ 樹木の指定については、維持管理のことを考えると常緑がいいのではないかと思う。
- ・ 電力の安定供給に向けた、電線類への接近樹木の計画的伐採等
- ・ 景観上重要な建築物の保全の取組は、誘客促進につながる。また、樹木はあたたかみを感じるので、行ってみたくなる場所になる。観光の観点からの候補はあまり無いように思う。鳥取県民文化会館の前でライトアップをするという計画があり、若桜街道の活性化協議会が行っているシャッターへのライトアップなどと合わせて1つの名所となつたらいいと思う。

<どちらとも言えない理由>

- ・ 個人の建築物の場合、どこまで踏み込めるかが疑問

問 7-4 公共施設に関する景観形成の方針の作成



<重要な理由>

- ・ 公共物であれば 行政で方針を決定できるので
- ・ 全体の調和を大切にとる為
- ・ 市民の注目度が高いためある意味模範となる景観形成の方針が必要だと思います。
- ・ 公共施設は、地域のランドマークとして景観形成に大きな影響を与えます。適切な方針を策定し、地域の景観に調和しつつ、機能的で

魅力的な公共空間を創出することが求められます。

- ・ 統一された方針に沿って景観形成することが望ましい。
- ・ 公共施設は施設自体が大きく、人の出入りも多いので、目立つものであるから

<重要な理由>

- ・ 物件ごとに個別判断にすればよいと思う。コストを抑えすぎている為、非常に画一的なものしかできないと感じている。特記仕様の中でそれぞれ決めたらいいのではないか。規模や形態によるところがあり一律の方針の作成は難しいのではないか。駅前でどうやっていくかなど、具体的に何か造る時にプロデューサーの立場から方向性を示すような方法がいいのではないか。（例：若桜鉄道 水戸岡デザイナー）。方針が重要でないわけではないが、つくっても実現できるのか？ハードルが高いように思う。鳥取県でも方針をつくっているがうまく運用できていない。横浜市の公共事業に関する景観指針が好事例。
- ・ 個別の設計の時に検討されるのではないか。それであれば方針の作成は重要ではないと考える。

<どちらとも言えない理由>

- ・ 市が計画する公共施設であれば、方針がなくとも内部の調整で足りるのではないか。
- ・ 景観目的を考え、使用目的との整合性をとる。文化的施設であればそれにあった計画にするであるとか、目的とコンセプトを合わせて考えることが必要であると思う。車社会であるが駐車場がある施設が少なく、足りないと感じている。利便性を考えることが必要。

問 7-5 事業者として、市内の良好な景観形成のために新たなガイドラインや制度が必要だと思いますか？



<重要な理由>

- ・ 現在のガイドライン、制度の見直しが必要。拘束力の弱すぎるガイドラインは制限していないのと同じではないかと思う。今ある計画を充実させるなどして、新たなものは必要なのではないか。つくるとしても場所・エリ

アが重要。

- 市内の街並みや地域性、歴史、文化等にうまく調和させるためにある程度のガイドラインは必要と思います。
- 建てたもの勝ちにならないように規制は重要であると感じる。

<重要でない理由>

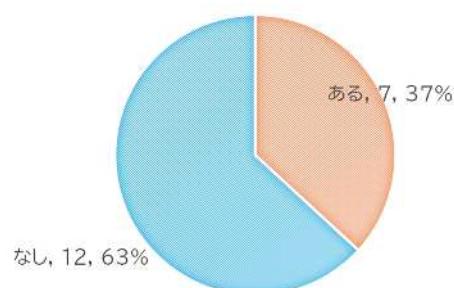
- 現状では新たな制度の必要性を感じていない。

<どちらとも言えない理由>

- 緩和するのか厳しくするのか、慎重にお願いします
- 規制を厳しくしすぎると、いろいろなものが衰退してしまいそう。
- 事業者として、市内の景観を向上させるためには、一定のガイドラインや制度の整備が有効だと考えます。ただし、規制が厳しすぎると事業の自由度を制約し、経済活動を妨げるリスクもあるため、適切なバランスを取ることが重要だと思います。重点的に取り組むところに限定するなどであれば良い。
- 制度だらけになると自由度がなくなるのではないか。また、コストがかかるという懸念がある。
- 範囲が広すぎるため。関連性の高い事業分野に絞って作成する等であれば重要だと考える。
- 新たには必要ないのではないか。まずは先進事例から学ぶことが必要である。視察等にいくと目から鱗というような学びがある。もっと先進事例から学ぶ必要がある。
- インフラ事業者等、関連事業者の意見を反映した内容であることが望ましい
- 景観が整うことで、誘客促進になるため、必要であると感じる一方、制度にしばられると困難な事案が発生する可能性がある

【景観に関する届出制度について】

問 8：法令に基づく届出を行ったことがありますか？



問 9：届出（事前協議を含む）において、どのような準備を行いますか？

- 要求されている資料の作成

- 建物形状および、仕上げ材（色彩含む）の協議
- 看板業者さんに委託した
- 届け出対象が工場でしたので工場立地法による緑地面積の確保と企業の独自性、社員の嗜好、立地周辺との調和等に対応するため緑地構成の樹種選定、管理方法も含めて検討しました。まず工場立地法に基づく緑地率を満たすことを第一に、数値だけでなく景観への配慮や広く見せるような設計を考えている。また、コストがかからない維持管理を含め検討し設計している。
- 景観法および条例の確認。鳥取市が定める景観計画や条例（例：広告物条例、景観条例など）を確認し、計画に適合しているかチェックする。
- 届出書の素案（添付資料含む）を作成（写真撮影含む）し、提出前に事前協議をさせてもらっている。眺望点からの写真を取り直すなど負担となっている。
- 行為の内容「木竹伐採」の届出内容調査。申請書類を鳥取市のHPからダウンロードして必要部数を印刷
- 工事図面、資料の作成
- 鳥取県景観計画区域（景観計画が適用される区域）ならびに景観法第16条対象行為等の確認

問 10：届出（事前協議を含む）における準備について、特に手間がかかった、または負担を感じたのはどの過程ですか？改善方法もあれば教えてください。

<書類、現地確認の負担>

- 届け出書類等の簡素化が望まれます。計算や確認などが多い（工場立地法か？）設備との兼ね合いや、実際の既存の緑地との確認等に手間がかかっている。
- 眺望地からの写真撮影に苦慮している。眺望地の基準がなく、届出者の判断で主要道路等から撮影し、事前協議で良否の判断を仰いでいる。追加撮影を要望されることも多々あり苦慮している。眺望点の基準を示してもらいたい（担当の方によって基準が異なる）。平地における緑地化対応。送電鉄塔の敷地においてお客さま等からの要望により雑草繁茂対策として舗装を行うことがあるが、緑化が必要なため敷地の全面舗装ができず一部緑地として残し、以後草刈り対応とした事例がある。その際、お客さまへの説明に大変苦慮したため、緑化の免除・緩和等できないか検討をお願いしたい（担当の方によって基準が異なる）。

る)。大きな工場などを建築するときは分かるが、鉄塔などの場合は緑化率については免除するなど緩和ができないか。鳥取県景観計画では緑化率3%について「敷地面積が10m²以下の場合はこの限りでない」としている。しかし、鉄塔を建設する場合敷地面積は10m²は超える規模であり、例えば15m角程度の敷地は緩和するなどができるないか。

- ・ 山上付近の伐採範囲の平均樹齢・平均樹高等の現地確認

<指導、説明等>

- ・ 行政が縦割りの為、様々な課の承認を受けなければならず、どこを優先してよいかわからなくなることがある。行政と様々な協議をする中で感じている。
- ・ 送電線の建設については、地元等関係者の理解を得た上で送電線ルート・鉄塔位置を決定し、用地売買契約・設備設計等行った上で、行為について事前に協議し届出を提出させていただいているが、近年、届出後に地元等への意見照会で計画見直しの要望があり苦慮した。「届出」であるが「許可申請」と同等の扱いである感じている。指導され色を変えた経緯がある。届出と言いながら、ほぼ許可申請と同等なのでは。

<コスト調整>

- ・ 景観形成区域内における建物形状と建設コストの調整
- ・ コストの調整に手間がかかる。

<その他>

- ・ 特にないが、あえて挙げれば、小規模な増築、改修等でも同じような資料が必要なこと。
- ・ 看板業者さんに委託したので、わからない

問11：景観に配慮した建築物等（工作物や広告物を含む）を計画・設計する際に、特に重視することはどのようなことですか？

<形態・色彩等>

- ・ 形態と色彩を重視している。
- ・ 外観は街の一部という考え方大切にしている。
- ・ 大きさと色彩
- ・ 派手すぎないようにしている。維持管理が容易なものにする。看板についても、落下等してはいけないので維持管理が重要であると考える。
- ・ 建物の色、形状、看板
- ・ 鉄塔の色彩について特に重視している。過去からの指導に基づき主要道路から眺望した際に背景（空・山）に近い色彩を採用するよう努めている。（自治体によって判断が異なる場

合がある。）通常はシルバーであり、黒っぽい色へ変更するのは高額である。自治体や担当によって判断が異なるところがある。

- ・ 事前協議に基づく塗装電柱（ダークブラウン等）の利用等。（重点区域内での電柱をブラウンにするなどか可能かという問に対し）明確には答えられないが、重点区域内ということであれば協力できる部分もあると思う。島根でも対応した事例がある。

<歴史や文化>

- ・ 周辺との調和やその地域における歴史、文化等を考慮し緑化の創出に取り組むべきと思います。またその後の維持管理も含めての計画、設計が必要と思います。

<周辺環境への配慮>

- ・ 周辺環境への配慮。鳥取砂丘や海岸、山林などの自然景観と調和するデザインや色彩を採用。自然素材（木材、石材など）の使用を推奨。自然の色彩（アースカラー、緑や砂色など）を基調とした外観。高さ制限の設定。景観を損なわないように建物や工作物の高さを制限し、遠景との調和を考慮。
- ・ 周辺景観に与える影響。以前は木の電柱があったが、それも安全性の面から今はほとんどない。自然に溶け込む色に配慮したり、地中化が理想的であると思う。重点区域内の電柱をブラウンにする等は検討してみないと分からぬが、それだけを造るというのは難しく、後で塗装するというのが現実的ではないかと思う。

問12：届出制度に関連して、今後どのような支援があると良いですか？

<補助金>

- ・ 景観形成重点区域内の建築に対する工事費の補助金。鹿野などのように、重要なものに対して補助金の制度があると良い
- ・ 基準を決めたらそれを超過した建築費は行政から補助をする
- ・ 景観形成は重要だと考えるが対策費用との調和も重要と考える。真に重要な区域以外については、特にインフラ設備についての緩和を希望する。（鉄塔の色彩等）重点区域とそうでない区域のすみ分けが必要ではないか。大型工事については、修正や変更は難しい。”重要なのはこここの景観”と決めてしまうのが良いのではないか。

<届出について>

- ・ WEB届出
- ・ 届け出書類等の簡素化が望まれます。
- ・ 届出手続きや必要書類、具体例をわかりやす

く解説したガイドブックやウェブページの作成。景観条例のポイントやデザインの事例集を市民・事業者に提供。補助金や助成金の提供。景観に配慮したデザインや工事に対する補助制度を設ける。

- Web 上での届出処理。平均樹齢・平均樹高などを現地に出向かなくてもWebで確認できる環境構築。文化財課の手続きはメールでも可能となっており、許可証についてもメー

【協働による取組】

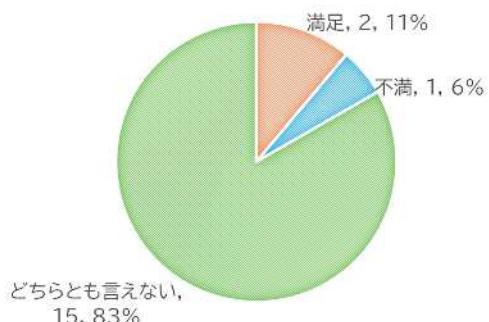
問 13：地域、企業、行政の協働の取組として進めていくべきことは何でしょうか？



- ①：情報発信等により周知することで、景観について考えることが増えたらいいと思う。
- ②：「協働の取組」としてというのが難しく、現実で効果的なのが2.なのではないかと考え選択した。個人の自由もあり、地域の協働での取組というのは難しい。鹿野のように、地域がお金がかかってでもやろうという意識がないと難しい。
- ④：一般的の民家でも景観に寄与しているものがある。それに対する支援も大切であると思う。
- ⑤：顕彰、普及の意味でも重要と考える。市から表彰されるのであれば報道もされるであろうし、普及に効果的だレギラス

【景観形成基準について】

問 14 届け出を行う規模要件や行為制限について、どのように考えていますか



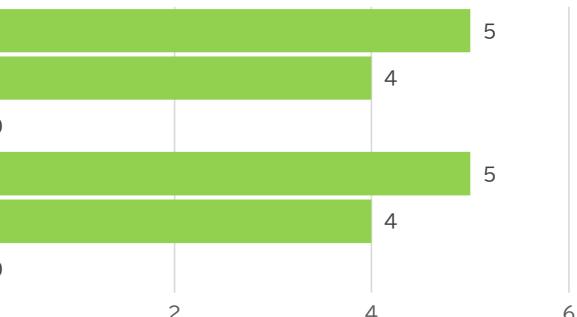
- 届け出の規模要件や行為制限は、事業者の負担と行政の適正な管理を両立させながら、環境保全・安全確保・景観維持・地域調和を目的として適用されるべきだと思います。
- 必要なことと思うが、要件の変更などにより規制がきびしくなっている。屋外広告物について感じている。
- 概ね問題はないと思うが、地域によってはさらに小規模の行為制限（例えばコンビニなどチェーン店の色彩制限など）があつてもよいと思う。

ルで返ってくる。ペーパーレスとし、電申請やメールでの受付ができないか。

＜その他＞

- 事前お知らせを継続してほしい。看板の更新申請について事前のお知らせがあり、継続して欲しい。
- 美観およびインフラ設備一体となった事業活動の促進

問 13：地域、企業、行政の協働の取組として進めていくべきことは何でしょうか？



- 洋服の青山の看板のようなものが制限されないのは、非常に不満を感じる。
- コンビニ等の色や形態について、地域によって、砂丘のエリアや仁風閣のまわりなどだけでも規制できるといいのではないか。鳥取市役所旧庁舎の跡地がコンビニになっているが、歴史を紹介するスペースをつくるなど、城跡周辺ということを意識したものでも良かったのではないかと感じる。
- 事案に直面していないので、判断できない

【その他、意見感想等】

問 15：景観を改善するための提案やアイデア、景観に対するご意見などをお聞かせください。

＜観光＞

- 重点区域の候補について、観光の観点から言うと街なみ以外に訪れたい要素が必要であると思うが、それが用瀬にあるかどうか。以前に鳥取市で浜村駅前のリノベーションの計画があったが、国の補助金が終わってしまったこともあり実施には至らなかった。浜村駅前を整備し、足湯やヤサホーパークと合わせて観光につながるようになれば良いと思う。鹿野や青谷も良くなってきていて、点ではなく

- ・ 浜村と抱き合わせて面として観光に繋がるより良い。国の交付金がないと難しいと思う。
- ・ ”鳥取は観光のまち”だと考えている。砂丘があり、温泉があり、民藝がある。そのためには綺麗でないといけない。商店街についても、観光のための鳥取の入口としてゴミ箱や広告はなるべく奥にするよう、室外機などはなるべく露出させないようになど取り組んでいる。
- ・ 民藝を中心としたまちづくりを進めており、民藝通りなど点を面にしている最中。体験工房があれば半日ぐらい過ごせ、滞在に繋がると考えている。旧吉田医院なども修復していかなければならない。
- ・ 景観の向上は、より住みやすい地域として、人口減少の歯止めに少なからず繋がると思われるが、観光誘致の観点からみると、まずは、交通アクセスを改善し、観光客の来県が伸びれば、景観を良くしようとする意識を各企業が持つようになり、大きな動きに繋がると思われる。特に、インバウンド需要においては、景観の保全、向上は、非常に有効と思われる。
- ・ せっかく景観を良くしても人が訪れないと良くない。観光振興の観点からも、交通や駐車場の整備も重要である。
- ・ 目的があるから訪れた人が歩くのであって、目的を駅～鳥取城跡の間につくる。歩くきっかけをつくることが重要。民藝通りや防火建築帯など資源はあるが、防火建築帯については住まれていないところもあり、区別所有になっているなど整備を進められない問題がある。費用面も重要である。

<ライトアップ>

- ・ 吉岡温泉では夜ライトアップを実施する計画がある。その他のエリアと併せて、統一感のある夜の景観づくりができれば滞在にも繋がるのではないか。
- ・ 観光地のライトアップ：鳥取砂丘や歴史的建造物を夜間ライトアップして魅力を強化。一定期間実施しているところもある。

<アーケード>

- ・ 古いアーケードがあることでさびれた街みなみになっていると感じる。智頭街道はアーケードを取ってしまってもいいのではないか。川端通りはアーケードを取ってかなり明るくなり成功事例だと感じる。

<電柱>

- ・ 電柱の色彩をブラウン系にする等が可能かは

社内で確認しないと分からないが、できる範囲内では協力したい。

- ・ 電線の地中化：街並みをスッキリさせ、景観を向上。大規模な工事になるので景観上重要なところについて進めていくなどが望ましいのでは。

<建築物>

- ・ 鳥取大火で古い建物は残っていないが、大火以降にできた耐火建築帯なども特色のある景観なのではないか。
- ・ 景観に合った建物デザイン：新しい建築物は地域の自然や伝統に調和するデザインを推奨。

<植栽>

- ・ 花や緑の植栽：公園や道路沿いに季節の花や木を植えて彩りを追加。
- ・ 植栽をたくさん植えてはどうか。

<制限・指導等>

- ・ 高い建物の建築についても、住民にとって最後に頼るところとなるのではないか。
- ・ 再生可能エネルギーは住民の関心も高い。地域の方にとっては、景観での制限が最後のハードル、頼みの綱となるのではないか。
- ・ 例えば砂丘や城跡の一部エリアをさらに規制するなどによる、良好な景観のモデルケース的なエリアが作れないか。
- ・ 重点区域の中の更に絞ったエリアなど、モデルケース的なエリアがつくれると良い。駅周辺も再整備がされるが、駅が綺麗になって終わりではなく周辺の建て替えなどにも繋がってほしい。それに向けて規制を進めて行くことも必要であると思う。
- ・ 景観を乱す恐れのある空き地空き家に対する指導の強化。

<取組提案等>

- ・ ゴミ拾いと美化活動：地域住民やボランティアと協力して、定期的な清掃活動を実施。
- ・ 景観重要樹木の保全の取組は、支援制度とセットであることが必要だと考える。賑わいの創出にも繋がることであり、手入れの支援等があるのが望ましい。
- ・ 表彰制度は普及に効果的であると考える。
- ・ 所有者が個人であるか、行政であるか、また、対象になる案件についてでも違ってくると思います。現在何が問題となっていて、何を改善しなくてはいけないかという根本的なところをみんなで共有し、問題定義する作業が必要ではと思います。今のところ市民の景観に対する意識は希薄な人が多く、市民の意識を変えるところからではないでしょうか。

- ・ 景観計画については、告知する方法も含め考えてはどうか。
- ・ 気高のまちづくり協議会も頑張っているところであり、まちに愛着がある。
- ・ 場所によっては、管理しなくて自然のままに見守る程度もありますが大半は最低限の維持管理を継続させることでより良い景観形成に

寄与するものと思います。管理しながら改善点も見えますし危険の除去もできますので良い景観は安全安心まちづくりに通ずるものと言えます。管理が必要な場所は最低限維持管理をしていくことが必要。維持管理をしていくことで例えば倒木の危険性がある箇所など危険な箇所を把握、チェックをすることができ、危険を未然に防ぐことにも繋がる。

参考：第12次鳥取市総合計画（令和8年3月）

めざす将来像	一人ひとりが自分の力を発揮でき 支え合いながら ともに豊かに暮らせる鳥取市 ～オアシスとっとり～
まちづくりの理念	挑戦・協働・共生・誇り
まちのすがた	多極ネットワーク型コンパクトシティ

計画推進における基本方針			
協働・連携の推進	スマートシティの推進	協働・連携の推進	戦略的な自治体経営の推進

基本構想		基本計画	
まちづくりの目標	政策	基本施策	
ひとりひとりが活躍するまち	こども 教育・スポーツ	結婚・出産・子育て支援 教育の充実・郷土愛の醸成 生涯学習の推進 スポーツ・レクリエーションの振興	
誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち	福祉 保健・医療 人権・共生・協働	社会保障制度の運営 超高齢社会に向けたまちづくりの推進 障がいのある人の自立支援 健康づくり・疾病予防・介護予防の推進 保健衛生の推進と医療の確保 人権尊重社会の形成 男女共同参画社会の形成 地域福祉の推進 多文化共生のまちづくりの推進 協働のまちづくりの推進	
ひと、もの、ことが行きかい、にぎわいあふれるまち	商工業・農林水産業 移住定住・関係人口・観光 文化芸術・文化財 生活基盤・市街地・中山間地域・交通	経営基盤の強化と雇用の創造・人材確保 工業の振興 商業の振興と販路拡大 農林水産業の振興 移住定住の推進と関係人口の拡大 滞在型観光の推進 他都市との交流の推進 文化芸術によるまちづくりの推進 文化財の保存・整備による「まちづくり」資産の形成 生活基盤の充実 中心市街地の活性化 魅力ある中山間地域の振興 交通ネットワークの充実	
豊かな自然と調和して、安全・安心に暮らせるまち	防災・防犯 環境	地域防災力の向上 防犯・交通安全対策の充実 安全・安心な消費生活の確保 循環型社会の形成 環境保全活動の推進	

都市づくりの将来像

「多極ネットワーク型コンパクトシティ」

都市づくりの基本方針

1. 脳わいと活気ある市街地の再生

- 若者が定住し、高齢者などが楽しみながら歩いて暮らせるまちづくり
- 東部圏域や市域の人が集まる多彩な都市機能による脳わいと活気ある空間づくり
- 交通利便性の高い公共交通網沿線などへの長期的な視点に基づく居住の促進
- 低未利用地※の活用による中心市街地の再生と脳わい創出
- 空き家の有効活用と多様なニーズに応じた住宅の供給
- 暮らしを支える都市施設の計画的な整備、統廃合と維持更新



2. むらしやすい田園生活空間の創造

- 生活サービス機能※が充実した地域生活拠点とその他の集落地の暮らしやすさの形成
- 水辺や緑地を活用した癒しのある田園生活空間の形成
- 地産地消や市街地との交流によるふれあいの場の創造

3. 豊かな自然環境や美しい景観・観光資源などの保全

- 市固有の自然・観光資源や歴史・文化資源の保存・伝承とネットワーク形成
- 里山景観や豊かな自然と調和した田園環境づくり
- 自然・歴史的景観の保全と利活用、美しい都市景観の保全・形成
- 環境にやさしい低炭素社会※の構築



4. 産業振興と交流・連携を促進する交通基盤づくり

- 市民の暮らしを支える産業の振興
- 多様な交流と地域連携を促進する高速道路網の整備
- 暮らしの快適性を生み出す各種拠点間の公共交通ネットワークの形成
- 鳥取駅周辺など主要な交通結節点※における交通基盤の充実



5. 安全・安心でいきいきとした地域づくり

- 災害に強い安全・安心なまちづくりの推進
- 市民の災害対応力の充実
- 全ての人が住みやすく、次世代を担う子どもたちがいきいきと暮らせる地域づくりの推進
- 医療・福祉施設の充実と協働による医療、福祉サービスなどの推進

参考：鳥取市都市計画マスタープラン（平成 29 年 3 月）

（5）都市景観形成の方針

- 1) 良好な自然景観の保全・育成
- 2) 歴史的資源を活かした景観形成
- 3) 良好な街なみ景観の維持・形成
- 4) 美しい公共空間の形成
- 5) その他

本市では、個性ある地域景観を保全・育成し、また地域を活性化させ、新たな魅力を生み出す都市環境の形成に向けて、「鳥取市景観計画」に基づき、景観形成の推進を図ります。

1) 良好な自然景観の保全・育成

- ・山のスカイラインや斜面緑地は保全に努めるとともに、周辺の建築物や工作物は森林や緑地との調和を促進します。
- ・海浜では、松林や松並木の適正な維持管理、侵食対策としての離岸堤などの計画的な整備を促進するとともに、建築物のセットバック*を促進し、魅力的な連続景観の形成に努めます。
- ・千代川や湖山池などの水辺では、親水空間の創出や沿岸の緑化・修景、自然河岸・プロムナード*の整備などにより、うるおいのある水辺景観の形成に努めます。

2) 歴史的資源を活かした景観形成

- ・歴史的たたずまいのある城下町の街なみや、歴史的・文化的建造物の保全を図るとともに、歴史的資源及びその周辺では、自然景観を保全し、落ち着きと風格のある歴史的環境の維持に努めます。また、これらの観光資源の有効活用やネットワーク化を推進し、個性的で魅力的な鳥取文化の創造に努めるとともに、文化交流、滞在型観光の展開を図ります。
- ・歴史的資源の改修・復元を促進し、魅力ある景観の再生に努めます。
- ・歴史的な街なみは、地域住民との協働により、現況の景観維持に努めるとともに、地域の顔づくりを図るため、地区計画制度の導入を検討します。

3) 良好な街なみ景観の維持・形成

- ・住宅地では、敷地内の植栽や生け垣の設置などの促進、建築物の高さや屋根形状・外壁・色彩などの統一を促進し、良好な街なみの形成を図ります。また、計画的に整備された住宅団地などでは、地区計画や緑化協定、建築協定などによる良好な街なみの維持・向上を促進します。
- ・商業地では、建築物・工作物や広告物などの規制・誘導、空き店舗や空き地の有効活用の促進、統一的なデザインによる歩道や広場の整備、街路樹の整備、電線類の地中化などの推進により、美しい景観形成に努めます。
- ・工業団地などの大規模な工業地では、建築物の形態・意匠・色彩などの適切な誘導と、敷地内の緑化などを促進し、良好な地域環境の創造に努めます。
- ・農山漁村では、屋敷林や水田の保全、荒廃地の再生・利活用、集落の屋根並みの一体感の保全などを促進し、良好な田園景観・漁村景観の維持・形成に努めます。



漁村の街なみ（気高町）

参考：鳥取市都市計画マスタープラン（平成 29 年 3 月）

4) 美しい公共空間の形成

- ・幹線道路や市街地内の主要道路では、街路樹の導入を図るとともに、広告物やファーサード*の統一、駐車場の修景などを促進し、一体感・連続感のある景観形成を図ります。
- ・既存及び今後整備する公園・緑地では、周辺景観に調和した植栽や修景デザインに努め、都市の憩いの空間を創造します。
- ・公共施設では、緑化の推進やオープンスペースの確保などにより、都市景観の向上に努めます。また、主要な公共施設では、周辺景観との調和に配慮しながら、市のシンボルとして個性的な景観づくりを進めます。
- ・公共サインは、「鳥取市公共サインガイドライン」に基づき、周辺環境に配慮した整備を行うとともに、適切な維持管理を行います。



公共サイン

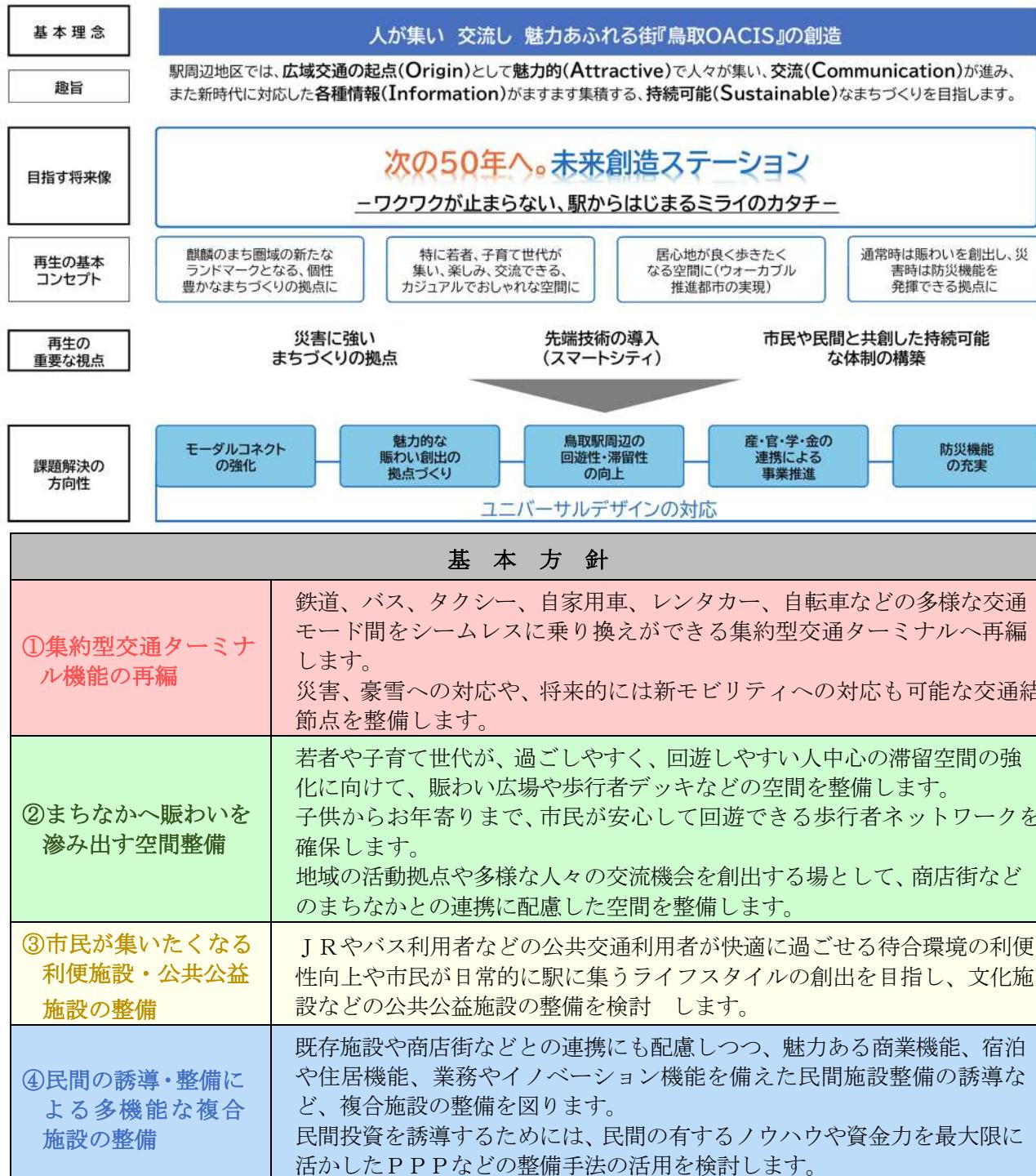
5) その他

- ・市域全域である景観計画区域の中でも歴史・文化・自然などの特色が象徴的に現れている「久松山山系」「湖山池」「因幡白兎（白兎海岸を中心とした国道 9 号周辺の沿道海浜地域）」「鹿野城下町」を景観形成重点区域に指定し、重点的に景観形成に取り組みます。
- ・歴史的または建築的に価値が高く、周辺地域の情景を特徴づける建造物や樹木については、景観重要建築物・景観重要樹木に指定し、維持・保全及び継承を図ります。
- ・フォーラムやワークショップの開催、広報誌やホームページの活用により、景観づくりの取り組みのPRや情報提供を行い、景観づくりに対する市民の意識高揚を図ります。



参考：鳥取駅周辺再生基本方針（令和6年6月）

■鳥取駅周辺の再生に向けたビジョン



<具体的な施策のイメージ(抜粋)>



参考：第2期鳥取城跡周辺にぎわい交流ビジョン（令和7年3月）

めざす姿	～目指せ！復活 鳥取城！～ 幅広い世代が憩い、交流し、体験できる自然・歴史・文化ゾーン
基本目標	1. 自然、歴史、文化に触れることができる機能の充実 2. 周辺と調和した良好な景観づくり 3. 様々な活動・交流の場づくり 4. 安全、快適な移動手段の充実 5. 交通アクセスの向上 6. 物販、飲食などの商業機能の集積促進
重点エリアにおける基本方針・ゾーニング	1. 文化財の保存・活用 2. エリア全体の景観向上 3. 市民や観光客の受け入れ体制づくり

■施策の展開イメージ

